

地域医療研修プログラム

1. 病院名			
国民健康保険 八代市立病院			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者	職名	病院長	
	氏名	森崎 哲朗	
所在地・連絡先		住所 〒866-0802 熊本県八代市妙見町 145 電話 0965-33-3620 FAX 0965-33-7986 E-mail hospital@city.yatsushiro.lg.jp	
連絡担当者氏名*・役職		事務長 田中 智樹 *プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載	
連絡先		電話 0965-33-3620 FAX 0965-33-7986 E-mail tomo-tas@city.yatsushiro.lg.jp	
3. 研修期間			
3ヶ月／6ヶ月			
4. 病院勤務医及び施設以外の指導医（主な指導医の氏名の前に「○」をつけてください） 主たる施設以外の指導医については氏名の下に施設名を記載してください			
氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
○ 森崎 哲朗	S62年	消化器外科 ----- 消化器外科認定医	外科専門医 ----- 臨床研修医指導医
村中 孝浩	H2年	外科専門医 ----- 臨床研修医指導医	認定 ICD
二宮 正	S63年	一般内科 -----	
永利 憲一 (非常勤)	S48年	一般内科 ----- 日本臨床内科医会専門医	日本内科学会認定医 ----- 認定 ICD
仲田 広敬 (非常勤)	S62年	一般内科 -----	
5. 施設・診療科診療実績概要 主たる施設の実績を記入してください			
病床数 96床（内総合診療部門定床 ー 床） 外来患者実績 初診 約 80人/月 再診 約 800人/月 入院患者実績 平均 約 1,800人/月			
6. 施設基準			
地域医研修について次の要件を満たす場合は口を塗りつぶす（■） ■一般病床を有する（病院の規模は問わない） □救急医療を提供している ■総合診療部門（総合内科、一般内科、総合診療科など）を有する ■委員会や診療科横断的な会議が定期的に開催され活動している			

7. 研修関連施設

主たる施設以外の研修先を記載してください

施設名		研修内容
	<input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 介護保険施設等	
	<input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 介護保険施設等	

8. プログラム基準

地域研修について次の要件を満たす場合は□を塗りつぶす (■)

- 基本的診療の向上
- プライマリ・ケアマインドの育成
- 保健・介護・福祉との連携
- 地域社会の診断
- 医療経済の視点

9. プログラムの内容

別紙1のとおり

10. 研修スケジュール

別紙2のとおり

9. プログラムの内容

I はじめに

八代市は人口約14万人で400床前後の急性期総合病院が2つあり開業医も多い。この点からは医療環境は恵まれていると考えられる。このような状況での地域医療は、離島や山間部といったいわゆるへき地にある病院や診療所が担う地域医療とは若干内容が異なる。

八代地域の問題は、人口あたりの回復期病院や小・中規模病院が少なく、急性期病院からの患者の受け入れ先が不足している点である。このため八代地域外への患者の流出も増加しており、地域医療に重要な医療・介護の近接性が崩れている側面が認められる。この問題はADLの低下した高齢者の医療・介護に特に顕著である。また国の医療政策により入院期間の短縮が求められ、病院の都合により行き先に困る患者・家族は増加している。

八代市立病院は96床(一般病床66床、結核30床)、外科・内科の医師5人(常勤3人・非常勤2人)のリハビリ施設を持たない小規模病院である。上記のような八代地域の現状を踏まえ、当院では急性期・回復期病院と開業医・施設・在宅をスムーズにつないでいく医療を目指し実践している。

当院での地域医療研修が目指すものは、上記の観点からみた地域医療の実践を通して、地域での医療システムを理解し、さらにその問題点を見出し、よりよい地域医療の構築のために新たな提言ができ、さらに医療活動のみならず、保健予防活動、介護福祉活動も包括・統合し、地域住民の生活を支援する体制に貢献できる医師を養成するための現場を提供することである。

II 6ヶ月コース

【当院で実践する地域医療】

1. 地域住民に対する一般診療・検診医療
2. 高齢者に対する医療
3. 在宅医療
4. 緩和医療(慢性疾患や癌の終末期ケア、高齢者の看取り)

5. 中長期的な管理を要する疾患への介入（高度栄養障害、褥瘡、慢性の呼吸不全・心不全など）
6. 社会的弱者に対する医療・福祉の提供
7. 地域での健康・保健活動
8. 院内での職員教育

【地域医療を実践するための研修目標】

1. 地域住民に対する一般診療・検診医療

- (1) 一般の外来診療（簡単な整形外科疾患も含めて）
- (2) 病棟管理
- (3) 内視鏡（主に上部消化管）、エコー(腹部、体表、血管、心臓)の実施
- (4) CT での基本的な画像診断：緊急性の判断ができる
- (5) 急性期病院への搬送の判断ができる

2. 高齢者に対する医療

- (1) 高齢者医療の特徴を理解する
- (2) 栄養障害のスクリーニングと栄養管理の実践
- (3) 慢性疾患の基本的治療を維持療法
- (4) 人工的な栄養療法（PEG、TPN など）の適応の判断
- (5) 人工的な栄養療法の減量・中止の適応を判断し、本人・家族の意志決定を支援する
- (6) 基本的な人工呼吸器の管理
- (7) リハビリテーションの適応の判断

3. 在宅医療

- (1) 在宅医療を支える地域での医療システムの理解
- (2) 在宅医療（自宅・施設）への移行をはかるために院内や院外の多職種（院外の医師、ケアマネージャー、訪問看護師、事務員、施設関係者など）、患者本人・家族とカンファレンスを開催し、十分なコミュニケーションを取る
- (3) 訪問診療などを通し、自ら在宅医療を実践する
- (4) 在宅医療での緊急対応を行う
- (5) 在宅での看取りの支援

4. 緩和医療（慢性疾患や癌の終末期ケア、高齢者の看取り）

- （1）疼痛の評価・マネージメント（オピオイド、鎮痛補助薬、ステロイドの使用など）
- （2）呼吸困難、難治性の腹水・胸水など患者の苦痛のマネージメント
- （3）苦痛緩和のための鎮静の適応と本人・家族の意志決定の支援
- （4）多職種と連携して患者の苦痛緩和、意志決定の支援、看取りのケア、家族ケアを行う

5. 中長期的な管理を要する疾患への介入（高度栄養障害、褥瘡、慢性の呼吸不全・心不全など）

- （1）多職種と協力して褥瘡の予防対策、栄養管理、治療を行う
- （2）院内院外で多職種と協力して切れ目のない慢性疾患の治療・ケアを行う

6. 社会的弱者に対する医療・福祉の提供

- （1）社会的背景を考慮し、医療・介護・福祉関係との連携をはかり生活を支援する

7. 地域での健康・保健活動

- （1）地域での健康・保健関係の啓蒙のための住民教育の開催
- （2）禁煙外来の実施

8. 院内での職員教育

- （1）院内勉強会の開催

Ⅲ 3ヶ月コース

3ヶ月コースは比較的短期間であり、中長期管理を要する栄養管理症例や褥瘡処置等が省かれていますが、それ以外はかなりの部分が重なり合っております。

【当院で実践する地域医療】

1. 地域住民に対する一般診療・検診医療
2. 高齢者に対する医療
3. 在宅医療
4. 緩和医療（慢性疾患や癌の終末期ケア、高齢者の看取り）
5. 社会的弱者に対する医療・福祉の提供

6. 地域での健康・保健活動

7. 院内での職員教育

【地域医療を実践するための研修目標】

1. 地域住民に対する一般診療・検診医療

- (1) 一般の外来診療（簡単な整形外科疾患も含めて）
- (2) 病棟管理
- (3) 内視鏡（主に上部消化管）、エコー(腹部、体表、血管、心臓)の実施
- (4) CT での基本的な画像診断：緊急性の判断ができる
- (5) 急性期病院への搬送の判断ができる

2. 高齢者に対する医療

- (1) 高齢者医療の特徴を理解する
- (2) 栄養障害のスクリーニングと栄養管理の実践
- (3) 慢性疾患の基本的治療を維持療法
- (4) 人工的な栄養療法（PEG、TPN など）の適応の判断
- (5) 人工的な栄養療法の減量・中止の適応を判断し、本人・家族の意志決定を支援する

3. 在宅医療

- (1) 在宅医療を支える地域での医療システムの理解
- (2) 在宅医療（自宅・施設）への移行をはかるために院内や院外の多職種（院外の医師、ケアマネージャー、訪問看護師、事務員、施設関係者など）、患者本人・家族とカンファレンスを開催し、十分なコミュニケーションを取る
- (3) 訪問診療などを通し、自ら在宅医療を実践する
- (4) 在宅医療での緊急対応を行う
- (5) 在宅での看取りの支援

4. 緩和医療（慢性疾患や癌の終末期ケア、高齢者の看取り）

- (1) 疼痛の評価・マネジメント（オピオイド、鎮痛補助薬、ステロイドの使用など）
- (2) 呼吸困難、難治性の腹水・胸水など患者の苦痛のマネジメント
- (3) 苦痛緩和のための鎮静の適応と本人・家族の意志決定の支援

(4) 多職種と連携して患者の苦痛緩和、意志決定の支援、看取りのケア、家族ケアを行う

5. 中長期的な管理を要する疾患への介入 (高度栄養障害、褥瘡、慢性の呼吸不全・心不全など)

(1) 多職種と協力して褥瘡の予防対策、栄養管理、治療を行う

(2) 院内院外で多職種と協力して切れ目のない慢性疾患の治療・ケアを行う

6 社会的弱者に対する医療・福祉の提供

(1) 社会的背景を考慮し、医療・介護・福祉関係との連携をはかり生活を支援する

7. 地域での健康・保健活動

(1) 地域での健康・保健関係の啓蒙のための住民教育の開催

(2) 禁煙外来の実施

8. 院内での職員教育

(1) 院内勉強会の開催

※6ヶ月・3ヶ月コース共通

両コースとも当院内においての研修がメインですが、院外研修として週一回程度、午後から八代市内の介護施設等への訪問研修、八代市内の開業医師の往診に同伴し、地域での開業医師の役割の把握なども予定しています。(施設未定)

10. 研修スケジュール

週間スケジュール(6ヶ月コース／3ヶ月コース)

国民健康保険 八代市立病院

	月	火	水	木	金	土／日
早朝	朝礼	病棟回診		病棟回診	病棟回診	休日
午前	外来	検査(内視鏡、エコー、透視、胃瘻交換等)	外来	検査(内視鏡、エコー、透視、胃瘻交換等)	外来	
午後	入院患者回診・カンファレンス	1) 薬剤説明会 2) 胃瘻造設、中心静脈確保、気管切開等の処置 3) ケアカンファレンス(随時)	1) NST勉強会 2) NSTカンファレンス 3) 問題症例カンファレンス(随時) 4) CF等の検査	1) 胃瘻造設、中心静脈確保、気管切開等の処置 2) ケアカンファレンス(随時)	1) 院内褥瘡回診・処置 2) 訪問診療 3) 介護施設等への訪問、往診	

※3ヶ月コースの場合は、上記から中長期管理を要する栄養管理症例や褥瘡処置等の研修が省かれます。